

ダウンロードいただき、ありがとうございます。

1. ソフトの概要

本ソフト、漢方処方加減と処方分析は、漢方処方が続けられている医師・薬剤師の方々が、現在の処方の加減を考えるとときや、まったく新たに処方を組み立てていく時に資することを目的として作成したフリーソフトです。

以前のバージョンVB6版では、中国語が使えず文字化けが発生しておりましたが、今回はVB2010で作成したため、中国語が扱えるようになりました。

あわせて、生薬データベースの中身も改善しております。

このソフトは、また、定型処方の中身分析や、生薬辞書としても使えます。

2. 作者への連絡先

PFE02771@nifty.com

3. 動作環境

開発言語を Ver3.0 から VisualBasiDotNET に変更したので、Windows7・Vista であれば、組み込みソフトなしで動作します。

WindowsXP 以前の場合、Microsoft .NET Framework 4 が必要になります。

(<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp>

[/details.aspx?FamilyID=9cfb2d51-5ff4-4491-b0e5-b386f32c0992](http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?FamilyID=9cfb2d51-5ff4-4491-b0e5-b386f32c0992))

4. インストール・アンインストール方法

インストールは、Kampo_Analysis.zip を解凍後、Kampo_Analysis.exe をクリックすれば使用開始です。生薬 dbVer3.mdb は同じフォルダーから動かさないでください。

移動するときは、Kampo_Analysis.exe と生薬 dbVer3.mdb をセットで移動してください。

アンインストールには、このセットを削除してください。

5. 使用法

起動、最初の画面が右図です。

基本処方で加減したり、エキス剤に加味するときは、最初に基本処方選択をクリックしてください。

自分で処方を構成したいときは、

生薬のみで構成のタブをクリックしてください。

基本処方選択をクリックしたときの図が下

処方名	出展	構成生薬
阿膠鶏子黄湯	重訂通俗傷寒論	阿膠 釣藤鈎 白芍
阿膠散		阿膠 牛蒡子 甘草
安宮牛黄丸	温病条辨	牛黄 麝香 犀角
安神丸加減		朱砂 当帰 黄連
安神定志丸	医学心悟	人參 茯苓 茯神
安中散 (エキスNo(5))	和剤局方	肉桂 高良姜 小茴香
安虫散	小兒薬証直訣	鉛粉 鶴虱 檳榔
安肺寧嗽丸	経験方	硼砂 桑白皮 魚腥草

図は「あ」をクリックしたときの図です。文字を追加するごとに処方が絞り込まれて、右欄のグリッドに表示されます。グリッドの下のスライドを動かすと、処方の出展・構成生薬・薬効・読みを参照できます。

グリッドの処方名のひとつをクリックすると、画面の下に構成生薬が表示されます。ここで不要生薬を削除してもかまいません。

一番下は薬効です。

- ① ここで、名前のみ処方にをクリックした図です。グラム数をここに入れますが、「g」の文字を消さないようにしてください。

- ② 左記の内容の量を決めながら処方をクリックすると右図が表示されます。

左上端の赤文字はこの生薬の別名です。

左下は、推薦できる使用量をリストしていますので、ここから使用量を選択してください。

煎じるときと研末としての量を選べます。

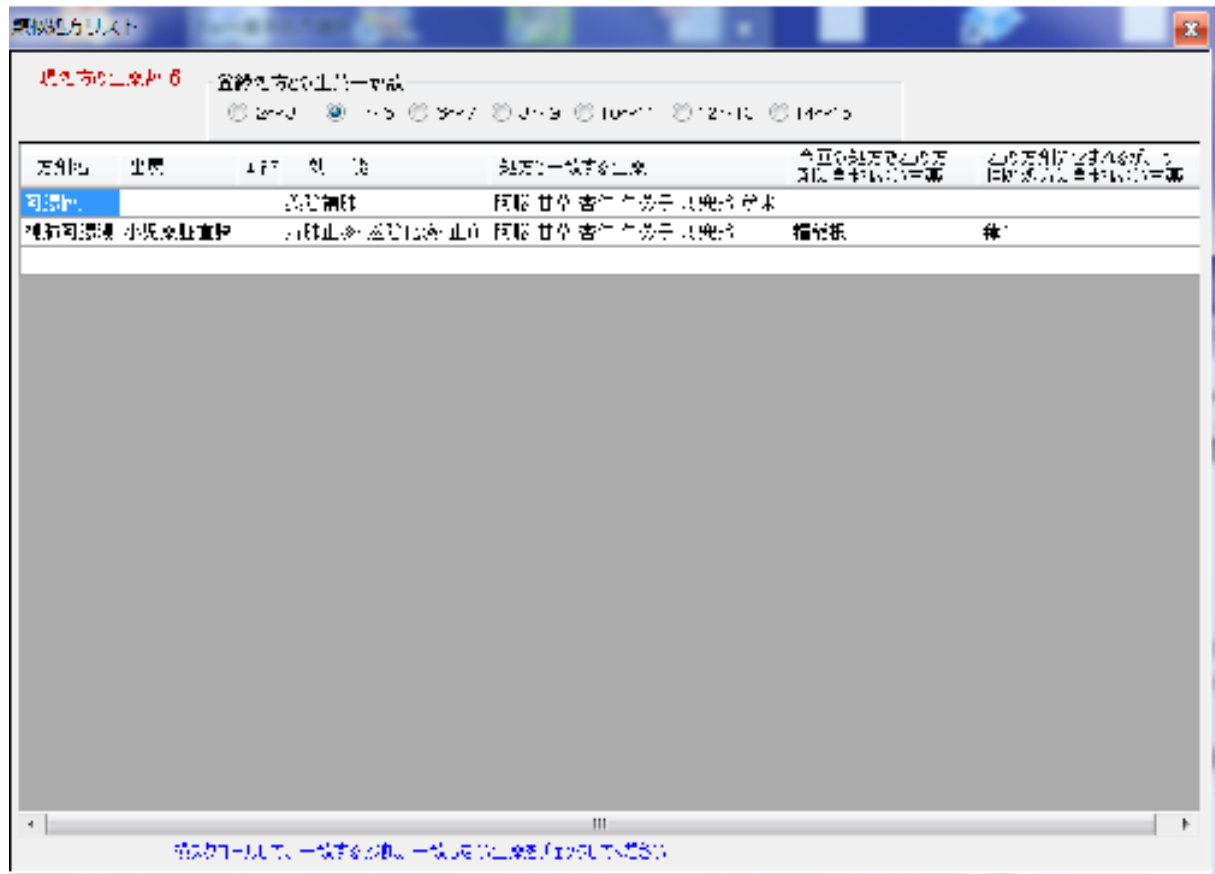
すべての量を選択すると、下図が表示されます。

右上の段は保険の使える生薬、右下の段は自費の生薬です。

それぞれのグリッドの下のスライドを動かすと、寒熱・味・生薬効能・経絡を見ることができます。

なお、処方する前に、各グリッドの処方箋記入生薬名という部分をクリックして、「あいうえお順」に並び替えて、重複がないかの確認をしてください。処方に加味したとき起こりえます。

この画面の右端、類似処方検索をクリックすると、下の図がでます。



上端の生薬一致数を調節してみてください。
エキス剤があれば、エキスの欄に○印がつきます。

処方箋印刷には市販処方箋の上に印刷します。
右図の下半分は処方の記入位置調整用です。
市販処方箋にあわせて調節してください。
先煎・後煎や、日数などは手書きでお願いします。

